

---

## 糖尿病治療ガイド編集委員会 (50音順)

荒木 栄一	大澤 春彦
稻垣 暢也 (委員長)	古家 大祐
井口登與志	綿田 裕孝
植木浩二郎	●
宇都宮一典	今村 聰 (日本医師会副会長)

---

## 糖尿病治療ガイド編集委員の利益相反に関して

日本糖尿病学会糖尿病治療ガイド編集委員会では、編集委員と糖尿病および関連疾患に関与する企業との間の経済的関係につき、以下の基準で各委員・執筆者より過去1年間の利益相反状況の申告を得た。

- 企業・組織や団体の役員、顧問職などの有無と報酬額 (1つの企業・組織や団体から年間100万円以上)
- 株式の保有と、その株式から得られる利益 (1つの企業について、1年間の株式による利益が100万円以上、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合)
- 企業・組織や団体から支払われた特許使用料 (1つの権利使用料が年間100万円以上)
- 企業・組織や団体から、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など) (1つの企業・団体からの年間の講演料が合計50万円以上)
- 企業・組織や団体が、パンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 (1つの企業・組織や団体からの年間の原稿料が合計50万円以上)
- 企業・組織や団体が提供する研究費 (1つの企業・団体から医学研究(治験、臨床試験費、受託研究費、共同研究費など)に対して支払われた総額が年間100万円以上)
- 企業・組織や団体が提供する奨学(奨励)寄付金 (1つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する部局(講座・分野)あるいは研究室の代表者に支払われた総額が年間100万円以上)
- 企業・組織や団体が提供する寄付講座に申告者らが所属している場合
- 研究とは無関係な旅行、贈答品などの提供 (1つの企業・組織や団体から受けた総額が年間5万円以上)

委員・執筆者はすべて、「糖尿病治療ガイド2016-2017」の内容に関して、糖尿病および関連疾患の医療・医学の専門家あるいは専門医として、科学的および医学的公正さと妥当性を担保し、対象となる疾患の診療レベルの向上、対象患者の健康寿命の延伸・QOLの向上を旨として編集作業を行った。利益相反の扱いに関しては、日本糖尿病学会の「利益相反(COI)に関する指針」に従った。

申告された企業名は下記の通りである(対象期間は2014年1月1日～2014年12月31日まで)。企業名は2016年2月現

在の名称とした(50音順)。なお、中立の立場にある出版社や団体は含まない。

### 記

- なし
- なし
- なし
- アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、MSD株式会社、小野薬品工業株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、協和発酵キリン株式会社、興和創薬株式会社、サノフィ株式会社、塩野義製薬株式会社、大正富山医薬品株式会社、大日本住友製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、田辺三菱製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社、日本ペーリングエイングルハイム株式会社、ノバルティス フーマ株式会社、ノボ ノルディスク フーマ株式会社
- なし
- アステラス製薬株式会社、MSD株式会社、サイトサポート・インスティチュート株式会社、塩野義製薬株式会社、大正製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社、日本ペーリングエイングルハイム株式会社、ノバルティス フーマ株式会社、バイエル薬品株式会社、森永製菓株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
- アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、エーザイ株式会社、MSD株式会社、小野薬品工業株式会社、株式会社三和化学研究所、株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア、キッセイ薬品工業株式会社、協和発酵キリン株式会社、興和株式会社、興和創薬株式会社、サノフィ株式会社、第一三共株式会社、大正富山医薬品株式会社、大日本住友製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、田辺三菱製薬株式会社、テルモ株式会社、日東紡績株式会社、日本イーライリリー株式会社、日本たばこ産業株式会社、日本ペーリングエイングルハイム株式会社、ノボ ノルディスク フーマ株式会社、ファイザー株式会社、持田製薬株式会社
- MSD株式会社、小野薬品工業株式会社、協和発酵キリン株式会社、大正富山医薬品株式会社、武田薬品工業株式会社、田辺三菱製薬株式会社、日本ペーリングエイングルハイム株式会社、ノボ ノルディスク フーマ株式会社
- なし